



NPO 法人おやこ劇場松江センター広報部 〒690-0874 松江市中原町71番地 TEL/FAX 0852-22-4937
<https://www.facebook.com/oyakomatsue> E-mail oyakomatsue@gmail.com

低学年例会
 影絵音楽団くぶくぶ
 きんぎよがにげた ほか

想造舎

2020年5月10日(日)
 11:00開演(10:40開場)
 島根県民会館多目的ホール1.2

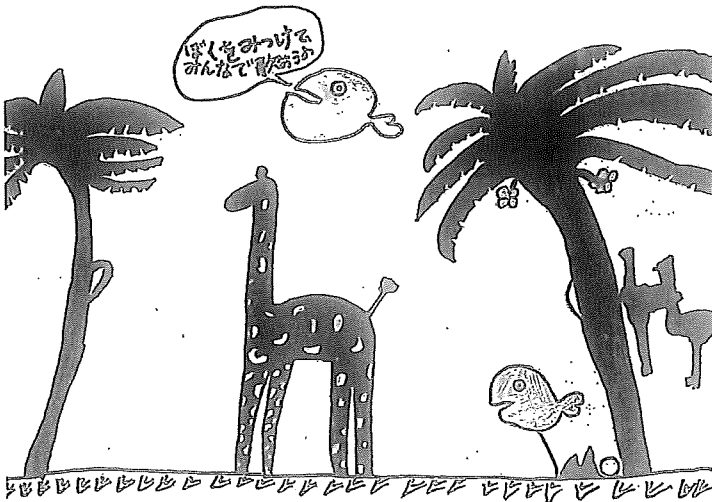
高学年例会

ちゃんぶるー

～私が幽霊!? 修学旅行～

日本児童・青少年演劇劇団協同組合

2020年5月30日(土)
 18:30開演(18:00開場)
 いきいきプラザ島根 体育室



題字・絵：Sさん



絵：門脇琉加

表紙	5月例会『きんぎよがにげた』『ちゃんぶるー』	1
◇ 特集	『キッドナップツアー』	
	北村直樹さん(脚本・演出)講演会	2-3
◇ 例会感想	『はらっぱのおはなし』	4
◇	げきじょっこまつり	5
◇ 事業報告		6-7
◇	ほっと♡ちよこっとカフェ報告	8-9
◇ 例会作品情報	『きんぎよがにげた』『ちゃんぶるー』	10
◇ ツイートコーナー(新企画!!)		11
◇	おやこ"あるある"劇場♪・編集後記・ご支援ありがとうございます	12

高学年例会『キッドナップ・ツアー』脚本・演出：北村直樹さんの子育てから学ぶ講演会 「思春期の子どもたちが大切にしたいことに親が寄り添うには」

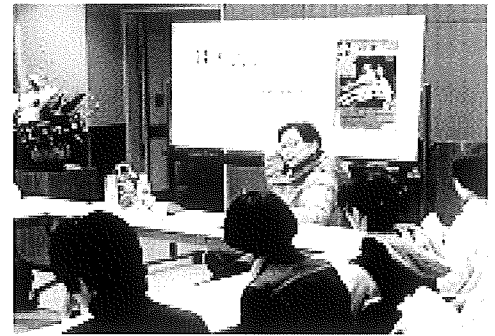
2020年2月24日（月祝） 城西公民館にて

北村さんには、松江でいくつもの作品を上演いただいています。

「キナコちゃんとダンス!!」を観た会員も多く、主人公のキナコちゃんと北村さんの娘さんが重なります。人形劇との出会いや子育てのこと、大切にしたい思いなどを講演いただきました。

北村直樹プロフィール

1983年に「人形劇団京芸」（京都）に入団、役者・脚本・演出の分野で活動した後、1999年に退団。同年、「人形芝居ひつじのカンパニー」を設立。全国を巡演中。
劇団うりんこでの演出作品は、『女王様、弟を助けて』『かんづめ坊や コンラッド』『ハッピーボーイ』『ぼくってヒーロー?』『キッドナップ・ツアー』『夜明けの落語』の7作品。



～『キッドナップ・ツアー』を製作して～

台本を書くのは一人の作業で、原作からエピソードをチェックし、上演時間が限られているので削る作業が多いが、粗筋になっては面白くない。自分だけの『キッドナップ・ツアー』を作るには、嘘っぽい親子関係にならないよう、娘と自分の日常の出来事や会話、その時の状況を思い出しながら、それに自分が小学生の頃の親との関係も重ねて書いた。

演出にもリアリティを追求し、劇団「うりんこ」の俳優たちにも作品への理解を求め、協力し良い作品に仕上げる努力をした。作品には、世間的にどうしようもない父親が、娘のハルに自分の思いを伝えようとする場面がある。父親が口ごもりながらも、必死で話す姿に胸打たれる場面にしたくて、そこも注目してほしい。

この作品はわかりやすいテーマをセリフで伝えていない。親の立場、子の立場で感じ方も違うと思う。親子で観ても、子どもに無理に感想を求めず、信頼してそっとしてあげてほしい。大人も含めて自分の中で感じたことを熟成させてもらえたら嬉しい。

～大学へ 人形劇との出会い～

子どもの頃は「一人でいるとホッとする」ような、自分の気持ちを伝えるのが苦手な子で、進路に迷いながら大学へ。コミュニケーションの練習も兼ねて、サークル活動をしようと思うが、性格的に体育会系と大人数は嫌で、部員8人の人形劇部が目にとまり、裏方で製作するならと見学へ行くと、そこは、部員が興味あることを台本にして、熱い議論を闘わせながら、良い脚本にしたものを選んで劇にしていこう方法をとって、テーマも大人向けだった。

「人と傷つけあうのが嫌」な自分にとって、驚きと衝撃の場だったが、皆、仲が良く優しく居心地の良さを感じて入部。裏方のつもりが、出演せざるを得なくなり、表現する喜びや楽しさを知り、良い作品を作るためには、身を削って仲間と言いたくないことを言わなければならないが、互いにそれを理解しあっているから絆が深まる。一年過ぎた頃に、人形劇の素晴らしさに気付いた。

その後、京都の人形劇団京芸の『ねこは生きている』に感動して、将来が全く想像できなかった自分が、これしかない!と思った。

～自立への道 原動力～

大学を中退して「人形劇団京芸」入団すると告げると、両親の驚きと怒りは大きく、帰省した所、親戚まで揃い猛反対された。「仕事は、家族を養うため我慢して、世間に役立つことをしてお金を貰うものだ。好きなことは趣味にしる。」

心が揺らいたが、「ここが人生の勝負所だ」と、意思を貫いた。辛かったが、好きなことが出来るという解放感もあった。大変だけど充実していて、次第に脚本や演出をするようになり、他の劇団員が辞める中、必死で踏ん張った。その原動力は、あの親族会議だったと、十数年後、改めて気づいて感謝した。

～七転八倒 娘とのバトルと平和の日々～

劇団員の妻が公演でいないときは、自分が娘を保育園へ送って仕事へ。朝は、わかっていても娘を怒鳴り、殺意に近い気持ちさえ芽生えたり、泣き叫ぶ娘を送り届けた後は、反省するばかり。

劇団で子供を楽しませる仕事をしながら、毎朝、一瞬の憎しみを抱く自分にジレンマを感じ「親になる覚悟はあるのか」娘に試されているようだった。

夕方は、娘が飽きるまで一緒に遊び、朝と違う幸せな気持ちにもなるが、寝かせるまでにイライラもする。感情の波が辛くて妻に相談すると、妻も同じような感情があるとわかって、お互いに気持ちが楽になった。

大変な時期だったが、思い返すと愛おしくてかけがえのない時を、娘と過ごすことが出来た。娘が思春期を迎えても関係が上手く行ったのは、この頃があったから。後に娘は「父ちゃんは、母のいない寂しさを一緒に乗り越えた同士」と言われた。自分にとっても、娘は自分を見抜いていて、弱音も吐ける存在である。

～思春期の娘から相談 思うこと～

娘が中三のとき、「何が好きで、将来どうすればよいかわからない」と相談された。「とりあえず、楽しいと思うことを三年やってみたら」と伝えると、娘はダンス部のある高校へ。充実しているものの、まだ将来が決められないまま短大へ進むと、演劇に目覚め、今は東京の劇団に入り頑張っている。

娘のこと、自分の若いころを振り返っても、「夢がないこと」で人より劣っている気がしてしまうが、別に良いのでは。夢が無くても幸せな人はたくさんいるし、そんな価値観もないと「夢を持ちましょう」だけでは辛い。「夢がないから自由だ」という価値観も素敵だし、そのうち夢が見つければそれでいい。

親は子に、良い親でいたいし、子が夢を実現できるように育てたい。子も親の期待に応え、自分も満足したいという価値観があるが、それに囚われすぎではいけない。「親と子の人生は違うという瞬間が来たとき、両者はどうするか試されるし、自分の人生を賭けて向き合わねばならない時がある」ことを、今回の作品に込めた。

若い頃 北村さんがコミュニケーションが苦手な方と聞いて、中2の息子を重ねて聞いていました。子どもの将来について、ついついレールを引いてしまいがちですが、「将来何をやるかわからないから生きてみる」の考えでも いいのかも、気持ちがラクになりました。

我が子がまだ赤ちゃんの頃は、初めての子育てで分からないことが多かったからでしょうか。一緒に育っていくつもりで、見守りながら待つことができているように思います。でも、子どもが大きくなると、一緒に歩むことを忘れて一方的に自分の考えを押し付けてしまうことが増えていると感じています。辛い気持ちや困難と一緒に乗り越え進んでいく、親でありながらも同士のようなそんな存在に、私もなりたいたと思いました。

長崎の吉岐のおやこ劇場の子が島を出る時に、おやこ劇場に在籍して良かったことを聞いたら、「色んな大人と接したから、色んな考えや価値観があることを知れたことが良かった」と、言われた事が印象に残りました。子どもの将来の夢について、親の価値観を押し付けたいいけないなあと思いました。これから、中学高校と、多感な時期に、おやこ劇場を含めて、色々な大人と接することで、自分で、進みたい道を決めていって欲しいと思います。

北村さんの半生を振り返るお話は、まるで映画やお芝居を見ているようで、情景が浮かんで来たり、自分と重なったり、とても心を揺り動かされました。途中、涙がこみあげること何度もありましたが、必死でこらえていました。

自分の時間を子どもに委ねてしまうことで得られる大きな幸せ。その積み重ねで育まれる深い愛情。時間に追われて生活をしていると後回しにしてしまいがちですが、最も大事なことを思い出させられました。

また、北村さんが人形劇の世界に飛び込む話は、まさにセレンディピティの話だと思いました。

幸せになるために、無理やり夢を持つとする必要はなく、自分の心に従って一歩一歩を踏み出していけば幸せは偶然見つかるもの。そのように理解して、子どもの進路、将来はあまり心配せずに見守っていこう。今を大切にしていこうと再認識しました。

今回、他人にも自分にも優しく繊細な北村さんのお人柄が更に強く感じられました。だからこそ私は北村作品に魅力を感じてしまうんでしょうね。

自分の若き頃や育児について、重ねながら聞いていました。『ああ～、その性格私と似てる似てる！』『一時預かり保育所での別れの叫び…そうだった！そうだった！』笑いがあったり、涙がこみ上げそうになったり…楽しくまた考えさせられるお話でした。

子どもが自分の将来を決めようとする時に、『〇〇でなくてはならない』と大人の価値観を植えつけてはならないんだということが印象に残りました。

殺意が芽生える」って文字にすると「えっ」って思うけど
北村さんのお人柄と話し言葉で笑いと共感になるのかなあと思いました。

必死で、余裕のない子育て中に抱いた北村さんの感情はどれも 「まさに、その通り！」と頷いてしまいました。子育てのしんどいことや、負の感情を奥様と共有されたことが素敵で、少々羨ましくも。夫婦で子育てを協力し、共有しあえれば、家族の絆が深くなるのだとお話から伺うことが出来ました。負の部分にもふたをせず、他者とコミュニケーションをとり、より事態を良くすることができる経験を重ねれば、人生も豊かに広がっていくように思いました。

講演会の時間、子どもたちは、ホットケーキを焼いて食べました。

交流会は、温かいご飯にお汁付きお弁当『「森の台所」さん』をいただきながら、なごやかな雰囲気でした。

『キッドナップ・ツアー』には、北村さんが、主人公のハルに掛けたい言葉が、セリフ至る所、全部にあるそうで、例会が楽しみにになりました。

※高学年例会『キッドナップ・ツアー』は、延期しています。

詳細をお待ちください。



日時：2019年12月7日（土）15:00開演（14:30開場）
場所：島根県民会館中ホール（全席自由）



心に残ったシーンやセリフは

生まれたばかりのちょうがくものおじいさんに話しかけているシーン（moka 大人 女性）

角田くわはちが立ち上がるシーン（大人 女性）

蝶々さんの一輪車がとにかくすごかった、夢にも出てきました。プロジェクションマッピングが効果的で虫の気持ちになりました（岩本桃子 大人 女性）

一人じゃない（小5 男性/小5 女性）

優しいは一緒に生きる。ひっくり返ったクワガタに雨が降りたたた時は鳥肌がたちました。

生きるは痛い、一瞬に生きる（大人 女性）

カナブン親分が踊ったシーン（ゆきちちゃん 小2 女性）

くわがたさんが「いたい」と足が折れていたところ（ゆいと 幼保 男性）

カナブン親分がくわはちを助けようとするわるわるバツタを止めるところの言葉に心を打たれました（高橋郁 小3 女性）

中途半端な悪い奴、良い子は本物ではない（大人 女性）



作品の感想やメッセージ

それぞれの虫たちの生き様が強く心に残りました。キャラクターのふるまいやセリフが大切で子どもには難しいかな、と一瞬思いましたが、ぼんやりとでも記憶に刻まれたと思います（岩本桃子 大人 女性）

いつも踏んだり荒らして遊ぶ自然の中に目をやる気持ちが子どもに芽生えるといいな、と思いました。（小1 男性の親）

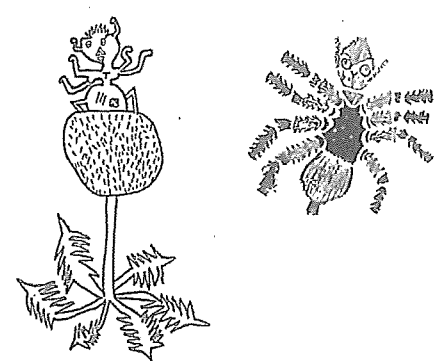
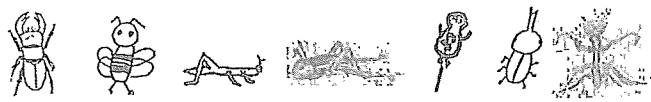
命、人を想うということが様々な視点で語られていて心揺さぶられました。

カナブン親分の歌唱力とキャラが最高でした。（大人 女性）

一輪車で楽器を持ちながらこいだり跳んだりしていて凄いと思いました（チップ 小4 女性/福田七恵 小5 女性 その他多数の方から寄せられました）

社会人歴20数年、母歴10年です。カナブン親分みたいになりたいと思いました（ゆうまり 大人 女性）

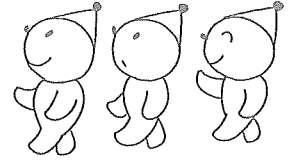
県外に住む孫のために虫取りもして楽しかった。（徳田さん 大人 女性）



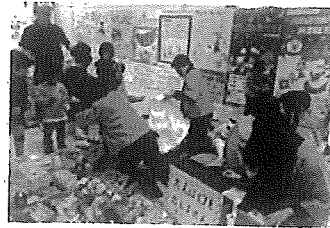
第38回 げきじょっこまつり

2020年2月16日(日) 10:30~14:00 / 市民活動センター1階

今回も楽しい1日を過ごしました♪ (参加者 約300人 / ドン券販売 約120枚)



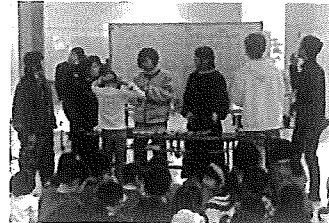
<ドン券バザー>



<あそびコーナー>

楽しかったねエ〜♪

<ビンゴゲーム>



<日用品バザー>

学生ボランティアさん
ありがとうございました。

<飲食スペース>

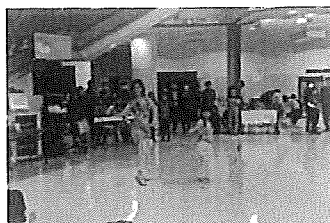


ご協力ありがとうございました。

美味しかったで〜す!
ごちそうさまでした。

<カンフーパーフォーマンス>

<ベリーダンス>



<のぎキッズコーラス>



(Belly Dance Cherish)

(龍華中国武術会)



門脇志保さん、池田明子さん、後藤展枝さん、高橋莉央さん、上田郁子さん、お疲れ様でした。

開催事業報告 2019.11～2020.3

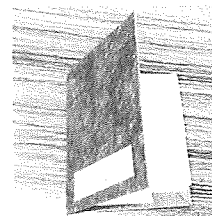


＜親子でまち探検＞

◎2019年11月9日(土) 中原町・末次町

参加者； 大人13名・子ども8名

11月9日(土)の午前、お天気も良い中、「親子でまち探検！」を開催しました。
まずは、NPO法人まつえ・まちづくり塾の堀江さんに、探検する場所などを教えて頂き、
会員お手製の片手サイズの地図を持ち、いざ出発です。



道幅が変わっているのは、「中原大火」の影響。
子どもも大人も堀江さんの話を興味深く聞いていました。
和菓子屋「一春庵」では、ご主人がお店の由来や創業のきっかけを話してくださいました。その他、「青山蒲鉾」さん、お弁当の「まるみ」さん、
和菓子屋の「福田屋」さん、「かりの金物店」さんでは、グループに分かれ、それぞれのお店の歴史を聞いたり、欲しいものを購入したり。

その後、末次町の方へ移動し、「この辺りまで穴道湖があり、波止場があって、船でここまで石を運んでいました。」と堀江さんから説明を受けました。



末次町にも色んなお店が並んでいます。各自行きたいお店へ自由行動し、「森の台所」さん、「SUETUGU」さん、「PANTOGRAPH」さんで沢山お買い物しました。

まち探検 Map



～参加者の感想～

- ・ぼくの校区だけど、知らないところが沢山あり、今日知れて面白かった。
- ・学校のまち探検で行けなかったところに行けたので、嬉しかった。
- ・普段、1人では入りにくいお店に入れたし、買い物もできたので良かったです。
- ・この辺りは初めて歩きました。普段は車で行動しているので、松江に住んでいながら、知らなかったところばかりで、今回をきっかけにまた出かけようと思います。

歴史のまち「松江」。また、他の地域でもまち探検ができたらいいな、と感じました。

子育て支援部； 山野内 真帆

＜＜お餅の会＞＞

◎ 2019年12月26日（木）おやこ劇場松江センター事務所

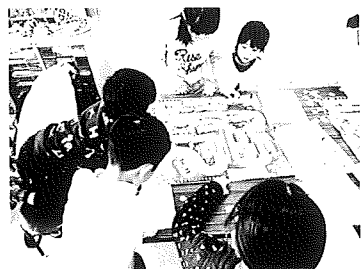
参加者；大人19名 子ども22名

2019年最後の開局日は、お餅の会でした！

大人19人 子ども22人の総勢41人でわいわい。

お餅を丸めて、食べて、遊んで、おしゃべりして楽しく過ごしました。

機械でついたお餅ですが、丸めるのは大人も子どももみんなです。コツを教わりながら、熱いけど頑張って、とても上手にできました。



ひと段落したところで、つくたてのお餅をいただきました。

初めて事務所に来てくださった方もあり、0歳児さんも3人来てくれました。食べ終わったら、子ども達は思い思いの遊びで楽しみました。

餅つき機を持ってきてくださる方、手作りデザートを持ってきてくれる方、きな粉や粉のご寄附は、南目製粉さん。

お手伝いに来てくれる人、この会に参加してくださる人。

たくさんの人の力で実施することができました。

いつもたくさんの人の支えがあることに感謝です



事務局； 藤井 浩子

＜＜中高生鍋パーティ＞＞

◎ 2019年12月30日（月）おやこ劇場松江センター事務所

参加者；子ども7名・青年8名

年末恒例の中高生鍋、中高生と青年とで賑やかに開催しました。

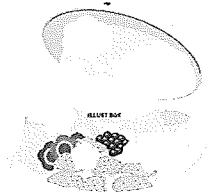
いつも駆けつけてくれる青年には感謝です！

みんなでワイワイ買い出しに出かけ、今年はキムチ鍋と塩ちゃんこ鍋に決定！

途中でうどんが炭化する（焦げ付く）ハプニングもありながらもおいしく楽しく過ごせました。

年齢も学校も違う仲間たち、しゃべり続けてあっという間に時間が過ぎました。げきじょつこまつりの相談も出来たかな～？

事務局； 藤井 浩子



ほっぺこカフェ 報告

♪

トリオクレッセントライブ

♪

11月17日(日)

大人 33人
子ども 21人



東持田町にあるセンター「ひまわり」で
トリオクレッセントのライブをしました。フルト、チェロ、ホルン、マリンバ
ピアノの素敵なハーモニーに親子でゆくり楽しむことができました♡

- 「身近になり楽器の音色、調子をこんなに楽しんだのは初めてです。」
- 「楽器の生演奏に触れる機会はなかなかないので、ステキな機会をいただきました!!」
- 「子どももノリノリで身体を動かしていました。気持ちよく途中で寝てしまいました」



なごなご癒されました♡という感想がたくさん寄せられました。
3人でマリンバだけの演奏もあり、これがまた素晴らしい
マリンバの音が心に響きました!!



おとあそび

12月10日(火)

親子 6組



今回は事務所で開催!!

身体を使って皆で楽しく踊ったり歌ったりして子どもたちの笑顔が

たくさん見られました♡ 子守唄... 西洋のものはワルツの
影響で3拍子のものが多く、日本のものは農耕の影響で
2拍子なんだよと興味深い話も聞きました。



色々会に参加してきたけど、今日が一番楽しかったと感想も。

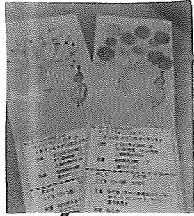
交流会では、子ども達には手作り焼きもち。大人には
せんざいを準備して、みんな美味しく頂きました。



チリンとドロンコンサート

2020年1月24日(金)

親子 40組



おやんリズムさんと一緒に準備をしてきました。

チケット・プレゼント作り。お二人をイメージしながら、これがいいかな、もっとこんな風にしようか、とみんなで話し合いを重ね、素敵なリスが出来上がりました。当日のスタッフがつけるブローチ🎵や飾りつけまですべて手作り♡

当日は40組もの親子が参加してくれました。

チリンさんの透き通る歌声に引き寄せられ、あっと言う間にチリンとドロンの世界へ～♪世界の手あそび～おかあさん、おとうさんと手を動かして、身体を動かして、触れ合いながら、とても楽しい時間が過ぎました。



色々な楽器も聴く。子ども達も手拍子してノリノリ!!
この時の鼻笛、コンサート後の販売で大人気でした★
ゆっくりした音で、とても心地よく癒されずーっと聴いていたから♡と感想が。
親子でなヅんでもらったコンサートになりました😊



お鍋の会

2020年2月19日(水)

親子 5組 大人10人

本日のお鍋

「塩鍋」

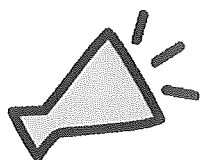
「キムチ鍋」

今回は支援部さんのお鍋の会とドッキング!! 5組の親子さんが参加して下さいました。最初にわらわらたてなヅんでもらい、絵本や「うぶんのうーせん」のペーパーサートをしました。子ども達、食い入るように真険に観てくれ楽しんでくれたようです😊



子どもがいるとなかなかお母さんは食べられないキムチ鍋。「久しぶりです♡」とたくさんおかわりして美味しく致してもらえました。子ども達もモリモリ食べて

くれて、びっくりするくらいでした。嬉しいですお母さん同志、話しがはあみ。子ども達は子ども同志で遊び良い時間になりました♡



例会作品情報！どちらもたのしみ！

低学年
例会

ジャワ島の影絵芝居とにんぎょうげき 「きんぎょがにげた」

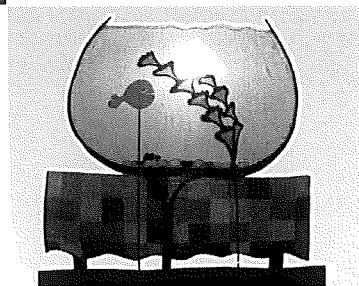
2020年5月10日(日) 開演11:00 (開場10:40) 上演50分

鳥根県民会館多目的ホール1. 2

金魚鉢から、きんぎょがにげ出した！部屋をとびだし街へ、そして南国の森へと。そこで誰と出会うのかな？優しい語りと生演奏に合わせて、みんなで歌い隠れたきんぎょをみつけよう！

他劇場での感想を紹介します～

- ・わにがすごく大きかったです。(小1) ・さかながめっちゃピンクだった。おもしろかった！！(年長) ・たのしかった。おもしろかった。(小2、小3)
- ・音がきれいですごくよかったです。(小2)
- ・歌声と楽器のハーモニーが幻想的で美しくうっとりしました。一番最初の○△□の歌がとても好きでした。子どもに美しい物を見せてあげられて良かったです。
- ・子どもたちも大人もひきつけられる世界感でした。
- ・きれいな音色で歌声にピッタリでした。きんぎょのお話も絵本とは違う所もあって、面白かったです。
- ・きんぎょがにげた時に一緒にうたを口ずさんでいて子どもが楽しそうにしていました。親子共最後まで楽しかったです。ありがとうございました。
- ・話も面白かったが、歌や音楽も良かった。子どもも夢中になって見ていたので参加して良かった。
- ・影絵とても素晴らしかったです。そしてバックミュージック(民族の楽器)と共に歌声もすばらしかったです。お二人の息の合った素晴らしい作品でした。心がすっきりしました。



ガムラン音楽

高学年
例会

ちゅんぷるー

～私が幽霊!?修学旅行～



客席が真ん中、舞台はぐるっと360度！鹿児島発、沖縄経由の体感型演劇。

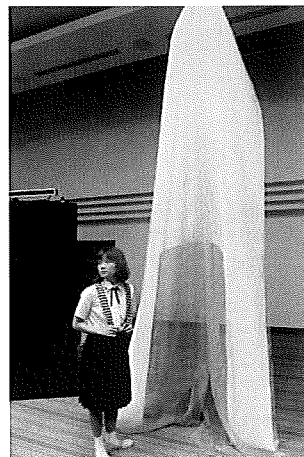
児演協のおとなたちが、中高生たちとともに「沖縄」を取材し、彼らが身近に感じたこと、深く考えたことをテーマとして制作された作品です。

～あらすじ～ 中学二年の華蓮にとって、班行動を伴う修学旅行はウザいの一言。同じ班の愛梨とはまったくかみ合わず、ガイドの話もつまらない。しかし、修学旅行の途中で華蓮の様子が急変。すっかり別人と化した華蓮には、なんと幽霊が憑りついていて!?幽霊は華蓮の体を使って走り、歌い、お菓子を食べる。愛梨ともすっかり気が合うようだ。華蓮と違って修学旅行をエンジョイするこの幽霊はいったい何者なのか。華蓮の意識が深く沈んだ夜、幽霊の在りし日の記憶がよみがえる...

～参加者の感想～

*前半の楽しい修学旅行の様子が後半の戦時中の残酷さを際立たせてました。今を生きる子ども達への強いメッセージが込められてました。主役二役を完ぺきに演じ分ける役者さんの技量にも感服でした。

*役者さんのギャグセンスと演技力がすごかった。舞台が360度で斬新だった。



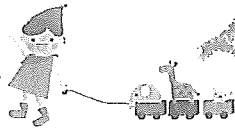
日時 2020年5月30日(土) 18:30開演 18:00開場 (上演70分)
会場 いきいきプラザ島根 体育室

ツイート コーナー

『おやこ劇場、ステキなところなんです』

人はそれぞれいくつかのコミュニティに属していて、そこでの役割を果たしていると思います。私の場合は、家庭では母、学校では教師、所属するサークル活動では部員としての顔があります。おやこ劇場は、親と子が同じコミュニティで同じ役割を持つ、とても貴重な場所だと思います。親と子が「おやこ劇場の会員」という同じ立場で、劇やキャンプやお祭りを楽しむ。こんな場所はとても珍しいのではないのでしょうか。

普段、子どもと一緒にいると、「子育て」の責任を感じます。親である私が、子どもを導き、教え、育てていかなければならないプレッシャー…。でも、おやこ劇場にいる間は、そのプレッシャーから解放されます。子ども達と同じ目線で一緒に楽しむことができ、力が抜けて、普段よりちょっといい顔になっている私。子ども達はおやこ劇場の素敵な大人達やお姉さん、お兄さん達に可愛がってもらっています。私も、子ども達もハッピーになれるおやこ劇場さん、いつもありがとうございます！！！！ (3歳男子・1歳女子の母)



初めて参加した『げきじょこまつり』は、「お母さんは絶対口出ししないでね〜！」と、何日も前からドン券での買い物を楽しみにしていました。

まつり当日の夜、小1の娘が「こんな幸せな1日は今日が初めてだった〜！」と、言い、その嬉しそうなお姿を見て私も「あ〜、おやこ劇場に入って良かった〜！」と、とても嬉しくなりました。

更に、下の子はドン券で4種類の電車が入ったものを買ったのですが、帰って開けてみると、それぞれの電車について手書きの説明書が入っていました。全部ひらがなで、心を込めて書いてくれたのが伝わりました。おやこ劇場には、相手の事を思う心豊かな子どもたちがたくさん居るんだろうなと感じました！

また、ブロック会やほっとちよこっとカフェでは、子育て世代のママたちや子どもから見たらおばあちゃん世代の方々とも色々なお話ができ、ゆったりとした楽しい時間を過ごさせてもらっています。子どもたちも同世代の子や優しいお兄さんお姉さんたちと遊ぶ、とても楽

しそうです！

色々な方々と出会ったり、色々な経験ができる素敵な場だだと思います。これから子どもも私も想像力や人間力を磨いていけそうだなあと思っています！（小1女子・3歳男子の母）

■おやこ劇場の活動に参加してよかったこと
同じ学校の友達以外にも違う学校の友達ができる。今でも仲よし。親や兄弟で共通の話題ができてコミュニケーション取れることがよかったと思う。



■おやこ劇場のよさ

音楽・芝居・子どもキャンプなど様々なジャンルのコトが年齢・性別・世代関係なく、一緒にあって楽しめるアットホーム感がすき。

(元会員・現青年28歳)

一人っ子の娘は、慣れたお友達の中ではとても活発なのに、知らない環境の中では一変して萎縮してしまう面があり、親としてはもう少し積極的にになって欲しいなと思っています。

そんな娘が、昨年ついに『こどもキャンプ』デビューを果たしました！1回目の打ち合わせでは、チーム名も目当ても私が考えたんだよ〜と嬉しそうに教えてくれました。メニュー決めも自分のアイデア（タピオカとフレンチトースト）が採用されたよ〜とこれまた嬉しそう。荷物も自分でパッキングして迎えた2日間に渡るキャンプは、しんどいこともあったけどとても楽しかったようです。同級生だけでなく、少し上、ずいぶん上の大学生や社会人と、今までかかわった事のない年齢層と一緒にあってひとつの事をやりとげた事、自分もその一員になれた事が本人の自信に繋がったようです。

その後も、自分から別の合宿（スキー）に参加したいと申し出たり、少しずつですが、自分ひとりでもやってみたいな〜という気持ちが芽生えているようです。「だってこどもキャンプに参加したんだよ」「キャンプでも自分でやったもん」そんな言葉を何回か口にするようになりました。

一人っ子ですが、娘にとってはたくさんの上の兄弟がいる、それが親子劇場です。そして今度は自分がお姉さんになる、そのスタートを切ることができた一年となりました。（小4女子の母）



・入社してすぐの会社の花見で、部長が宴会開場に展示してある甲冑を酔っぱらって着ているのを見て、この会社はどうなっているんだと思った事 (F2)

・社会人になった4月、研修で四国から大阪に渡り(^^;;せっかくだからと造幣局の桜の通り抜けを同僚と見に行きました。不安と期待の入り混じった複雑な思いと満開の桜を思い出します。(O1)

・新しい1年の始まりに、いつも緊張しながら眺める桜。不安で怖くて寂しくて、どこか切なく悲しいくらいに美しい。泣けてきます(T_T) (M)

・親族一緒に花見の名所錦帯橋へ。天候に恵まれて美しい景色の中、子どもは、いとこ同士で、卵焼きの争奪戦だったのを思い出します。(F1)

・第1子誕生の4カ月後、子どもも連れて家族で城山へ出かけました。すごい人混みと砂ぼこりの中、クーハンにいる子どもをみて、自分だけはりきっていたこと反省したことが忘れられないです。(K)

・早めに申し込んだ桜巡りツアー。例年より開花が遅く、枝を見て回る羽目に。寒かった。(I)

・一番下の子が産まれて、はじめて外出したのが家族で行った花見。これからこの子ども達と楽しいこといっぱいしたいな〜と、ワクワクしたのを覚えています。(O2)

・木次の桜ロードを自転車で走り抜ける桜吹雪のなか走るのは、プチゼいたくなサイクリングでした。(Y)

3月会員数 236人

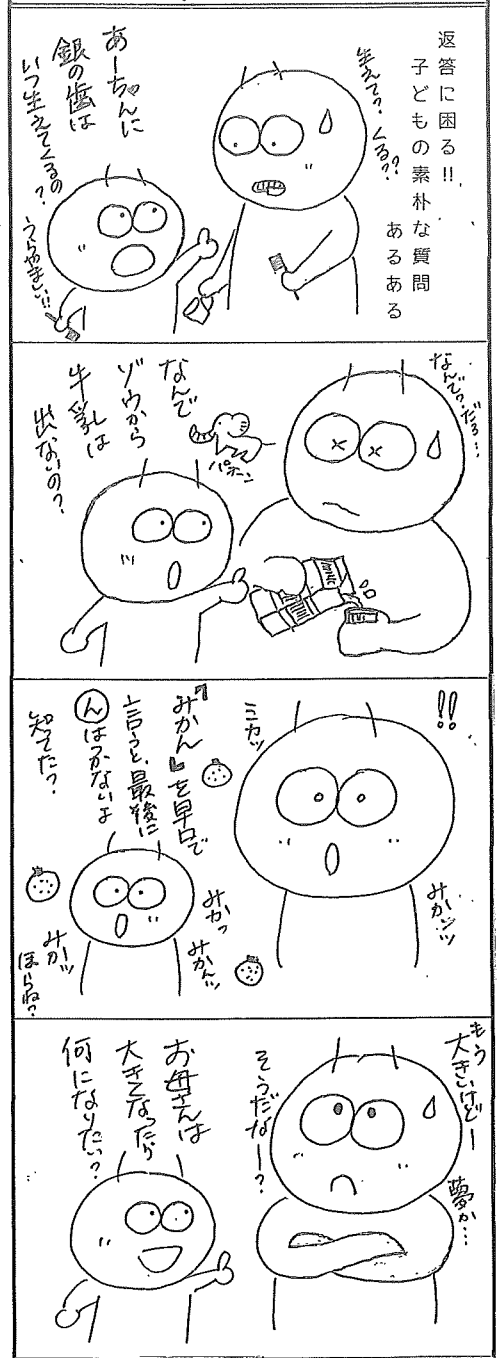
おやこ劇場松江センター公式LINEが出来ました!

ブログ更新情報やイベント開催などおやこ劇場の情報が受け取れます。公式LINEの「友達追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンして登録してください。



おやこ"あるある"劇場

画: 森のクマ



■賛助会員・協力会員・その他ご寄附いただいた皆さま(順不同)

- 猪野敏久さま 竹田環枝さま 松尾裕子さま 大島あずみさま 大島 悟さま 瀬島正人さま
- 安齋由紀さま 石橋洋男さま 三輪利春さま 佐々木明美さま 塩冶朋江さま 牛尾恵利子さま
- 上志智子さま 上志植さま 金山明子さま 又賀恒子さま 佐々木弘さま 泉恵子さま
- 岩成春子さま 神田照子さま 貴谷麻以さま 宮廻晃江さま 宮本洋子さま 矢野玲子さま
- 株式会社松文オフテックさま 医療法人ぼよぼよクリニックさま 有限会社島谷建設さま
- 松江プラザホテルさま プラパーフットさま 認定NPO法人あしびえさま 劇団Yプロジェクトさま 他

子どもたちの豊かな育ちを応援してください! 皆さまからの寄附をお願いしております。

※振込の方はこちらをご利用ください。

【郵便振替口座】01300-5-39364 【山陰合同銀行口座】本店 普通3714031

【名義】 特定非営利活動法人おやこ劇場松江センター